

「福島原発事故風評被害 — 水俣の経験を伝えたい」 緊急企画展

2011年6月16日～

水俣病資料館

電話／0966-62-2621

「福島の子は帰れ」など根拠のない差別や偏見が起きています。

悲しいことに、水俣も50年前から経験してきました。最初に正しい情報が伝わっていないことなどが原因です。でも、水俣は「人様は変えられないから自分が変わる」と話してくれた水俣病受難者に学び、世間は変えられないから水俣が変わると動いてきました。水俣病の犠牲を無駄にしない環境都市を目指し、今では環境首都の称号を得、モノも売れるようになりました。

原発事故で世界のフクシマとなった福島に水俣の経験を伝えます。国の対応を求めながらも、自分たちで覚悟し、本物のモノ、マチをつくる大事さを。

— 水俣病資料館・同語り部の会 —

